

令和8（2026）年度 大妻女子大学 比較文化学部 長期台湾研修プログラム

台湾 国立台湾師範大学 国語教学センター

国立台湾師範大学は台湾で最も有名な中高教員養成系大学であり、付属の国語教学センターは、1956年に創設された台湾で一番歴史のある中国語教育機関です。語学はもちろん、文化を学ぶ授業や校外学習なども充実しており、世界およそ60カ国からの留学生を受け入れています。また日本語のできるスタッフが日本人学生に柔軟に対応してくれるのも魅力です。台北の中心地に位置し、台湾の生活を満喫できる大学です。



| | | |
|---------|--|--|
| 協定校 | 台湾（国立台湾師範大学 国語教学センター） | |
| 募集人数 | 特に制限しない | |
| 授業料免除 | 全額免除 ただし、教育充実費、諸会費等は納入する。 | |
| 応募要件 | 1. 渡航時2年生または3年生。 2. 令和7（2025）年度後期までの成績が GPA2.3以上 であること。 3. 中国語既修者であること。 | |
| 選考方法 | 1. 書類選考 2. 面接 | |
| 研修期間 | （予定）令和8（2026）年8月末～令和9（2027）年2月末 | |
| 研修費用 | 約84,400円（1円＝約4.94円） <div> <div> 含まれる費用： 1. 授業料（79,200円。 クラスにより異なる） 2. 登録料（2,500円） 3. 保険料（6ヶ月 約700円） 4. 教材料（現地で説明。約2,000円） 最新の募集要項や為替レートによって費用が変動する可能性があります </div> <div> 含まれない費用： 1. 往復航空航運賃 2. 保険代 3. 食費 4. 滞在費（師大会館 二人部屋：1150円/一日、三人部屋：733円・833円/一日、四人部屋：625円 部屋の種類により異なる） 5. 停留ビザ代（マルチ）15,300円 本研修プログラムの期間と停留ビザでの滞在期間の兼ね合いから、研修中に一度出国するか、台湾で居留証などを申請する必要があります。学生寮（師大会館）の部屋の種類は、他大学からの留学生を含むルーム・シェアする人数により決まります。 </div> </div> | |
| 申込受付期間 | 令和7（2025）年12月15日（月）～ 令和8（2026）年1月13日（火）午後1時まで | |
| 申込書類提出先 | G棟6階 比較文化学部共同研究室窓口（平日9:00～17:00 開室） | |
| 申込提出書類 | 1. 申込書 2. 志望動機 3. 前期学業成績通知書（コピー可）＊① 4. 4月に本学で受診した健康診断書（コピー可） 5. パスポートのコピー（持っている方のみ） 注意 ＊①… 応募時のGPAが2.3に達していなくても応募は可能です（2025年後期の成績までを考慮に入れるため）。しかし、応募時のGPAが2.0未満の場合は、応募を受け付けません。 | |
| 問い合わせ先 | 比較文化学部 国際交流委員 ＊電話での問い合わせは応じかねます。 ＊質問等は国際交流委員 台湾担当 石川照子まで。 | |

【2 年次】単位認定のモデルケース（半期）（上限 16 単位まで認定します。）

| | 区分 | 科目名 | 履修学年 | 単位数 |
|-------------------|--------------|----------------------|---------|-----|
| 一括認定※ | 専門言語 | 中国語Ⅵ | 2 | 1 |
| | | 現代中国語基礎セミナーAⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | | 現代中国語基礎セミナーBⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | | 現代中国語基礎セミナーCⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | 専門科目 | 諸外国との国際交流Ⅰ（アジア圏） | 1・2・3・4 | 2 |
| 学生の自己申告により認定可能な科目 | 学部共通 | 異文化間コミュニケーション事例研究 | 2・3 | 2 |
| | | 文化交流論 | 2・3 | 2 |
| | | 国際関係論 | 2・3 | 2 |
| | | 比較社会論 | 2・3 | 2 |
| | | 国際政治経済論Ⅱ | 2・3 | 2 |
| | | ジェンダー論 | 2・3 | 2 |
| | | 表象文化論 | 2・3 | 2 |
| | アジア文化コース専門科目 | アジア研究入門AⅡ＊ | 2 | 2 |
| | | アジア研究入門BⅡ＊ | 2 | 2 |
| | | アジア研究入門CⅡ＊ | 2 | 2 |
| | 専門関連科目 | アジアの都市 | 2・3・4 | 2 |
| | | アジアの美術 | 2・3・4 | 2 |
| | | 大衆消費社会論 | 2・3・4 | 2 |
| | 全学共通 | 多民族・多文化社会 | 2・3・4 | 2 |
| | | 地域と文化 | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 言語と文化 | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 世界の歴史と文化 | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 国際理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（いずれか1科目選択） | 1・2・3・4 | 2 |

＊アジア研究入門は、AⅡ・BⅡ・CⅡのうち、2科目4単位を認める。

【3 年次】単位認定のモデルケース（半期）（上限 16 単位まで認定します。）

| | 区分 | 科目名 | 履修学年 | 単位数 |
|-------------------|--------------|--------------------|---------|-----|
| 一括認定※ | 専門言語 | 現代中国語基礎セミナーAⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | | 現代中国語基礎セミナーBⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | | 現代中国語基礎セミナーCⅡ | 2・3・4 | 1 |
| | | 現代中国語中級セミナーⅡ | 3・4 | 1 |
| | 専門科目 | 諸外国との国際交流Ⅰ（アジア圏） | 1・2・3・4 | 2 |
| 学生の自己申告により認定可能な科目 | 学部共通 | 異文化間コミュニケーション事例研究 | 2・3 | 2 |
| | | 国家と民族 | 3・4 | 2 |
| | | 多国籍企業論 | 3・4 | 2 |
| | | 国際政治経済論Ⅱ | 2・3 | 2 |
| | | ジェンダー論 | 2・3 | 2 |
| | | 表象文化論 | 2・3 | 2 |
| | | 比較社会論 | 2・3 | 2 |
| | アジア文化コース専門科目 | アジア文化研究AⅡ | 3・4 | 2 |
| | | アジア文化研究BⅡ | 3・4 | 2 |
| | | アジア文化研究CⅡ | 3・4 | 2 |
| | 専門関連科目 | アジア文化研究DⅡ | 3・4 | 2 |
| | | アジア文化研究EⅡ | 3・4 | 2 |
| | | アジア文化研究FⅡ | 3・4 | 2 |
| | 全学共通 | アジアの都市 | 2・3・4 | 2 |
| | | アジアの美術 | 2・3・4 | 2 |
| | | 大衆消費社会論 | 2・3・4 | 2 |
| | | 多民族・多文化社会 | 2・3・4 | 2 |
| | | 地域と文化 | 2・3・4 | 2 |
| | | 言語と文化 | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 世界の歴史と文化 | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 国際理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（いずれか1科目） | 1・2・3・4 | 2 |
| | | 国際理解Ⅳ・Ⅴ（いずれか1科目） | 1・2・3・4 | 1 |

プログラムに対する本学部の授業科目は一例にすぎず、モデルケースです。大妻におけるコース選択等の既習状況および現地における学修結果により、実際の単位認定は異なる可能性があります。なお、カリキュラム改正による科目変更は新設科目への読みかえにより対応します。

選考方法

本学部国際交流委員会が提出書類に基づき留学生を選考する。

選考基準として主な項目を挙げる。

1. 学力（GPA2.3以上が条件となる。）
2. 健康状態（4月以降新たな健康診断書（コピー可）の提出が必要。）
3. 総合判断（外国への関心、生活経験、目的意識、学習意欲、自主性、コミュニケーション能力など。）

注意事項

特別な事情が認められない限り、結果発表後の辞退はできません。

令和7年度 選考スケジュール

| | | |
|---|--------------------------------|--|
| 1 | 申込書類受付期間 | 令和7（2025）年12月15日（月）～ 令和8（2026）年1月13日（火）午後1時まで |
| 2 | 書類審査 | 比較文化学部 国際交流委員会 |
| 3 | 面接 | 令和8(2026)年1月27日(火) 令和7年度国際交流委員会実施 |
| 4 | 留学生推薦者決定 | 令和8(2026)年2月末 令和7年度国際交流委員会実施 |
| 5 | 教務委員会留学承認 | 令和8(2026)年4月 |
| 6 | 学科会議で候補者了承 | 令和8(2026)年4月 |
| 7 | 教授会で留学審議決定 | 令和8(2026)年4月 |
| 8 | 留学手続きガイダンス （本人と保証人の誓約書提出など） | ～渡航まで（ガイダンスへの出席は厳守のこと） |
| 9 | 渡航 | 令和8(2026)年8月末～令和9(2027)年2月末 |

令和8（2026）年度 大妻女子大学 比較文化学部 主催 長期台湾研修 申込書

（注意）鉛筆での記入は無効です。ペンで記入してください。

| | | | | |
|---|-------------------------------|---|---------------------|-----------------|
| 学 生 | 所 属 | 比較文化学部 年 組 文化コース | | |
| | 学籍番号 | 1511ー | (ふりがな) 氏 名 | |
| | パスポートの有無 ※該当に○ | 有 無 → 以下のパスポートに関する質問への回答は不要。「年齢・生年月日」以降を記入すると。 | | |
| | パスポートナンバー | | パスポートネーム ※ローマ字記入 | |
| | パスポート有効期限 | | 年 齢 生年月日 | 満 歳 西暦 年 月 日 |
| | 住所区分 ※番号に○ | 2：加賀寮 6：保証人と同居 7：保証人と別居 | | |
| | 住 所 ※都道府県から記入 ※マンション名明記 | 〒 ー | | |
| | 電話番号（固定） | | 携帯電話番号 | |
| | メールアドレス ※3つ全て記入すること | 大妻 Web メール | @cst.otsuma.ac.jp | |
| | | PC メール | @ | |
| 携帯メール | | @ | | |
| * 連絡は基本的に大妻 Web メールで行います。メールアドレスは正確に記入して下さい。正確に記入していない方には連絡がいきません。（※数字のゼロは「0」と記載し、英語のオー「o」と区別がつくようにすること。） | | | | |
| 保 証 人 | (ふりがな) 氏 名 | | | |
| | 保証人住所 | 〒 ー | | |
| | 電話番号（固定） | | 携帯電話番号 | |

以下の健康状態に関する質問に答えて下さい（該当に○）。

①現在持病が 「ある ・ ない」

※上記で「ある」と答えた方は、病名を記入してください。 _____

②現在常用している薬が 「ある ・ ない」

※上記で「ある」と答えた方は、薬名を記入してください。 _____

（注意）本人、保証人それぞれの自署で記入し、異なる印鑑を押印して下さい。

| | |
|---|---------|
| 同意書 | |
| 私儀、 _____ は | |
| 令和8（2026）年8月末から令和9（2027）年2月末までの期間、台湾 国立台湾師範大学 国語教学センターへ6 か月間留学し、留学に関わる費用を負担することに同意します。 | |
| 令和 年 月 日 | |
| 本人署名 _____ | 印 _____ |
| 保証人署名 _____ | 印 _____ |

（注意）鉛筆での記入は無効です。ペンで記入してください。

| | | | |
|--------|-----|------|--------------|
| 比較文化学部 | 年 組 | 学籍番号 | (ふりがな) 氏名 |
|--------|-----|------|--------------|

次のアンケートへ具体的に詳しく記入してください。

1、留学の動機は何ですか。

2、具体的に何を勉強したいか説明してください。

3、海外に目を向けた学習および活動歴について書いてください。

- 申込提出書類：1. 申込書
2. 志望動機
3. 前期学業成績通知書（コピー可）＊①
4. 4月に本学で受診した健康診断書（コピー可）＊①
5. パスポートのコピー（持っている方のみ）

注意

- ＊① 現在最新のものを提出した上で、令和8年4月以降に、最新の学業成績通知書（コピー可）、最新の健康診断書（コピー可）を提出して下さい。

申込受付締切：令和8（2026）年1月13日（火）午後1時まで

申込書類提出先：G棟6階 比較文化学部共同研究室窓口（平日9：00～17：00 開室）